

日本バプテスト連盟 全国壮年会連合

東京地方壮年連合通信 Vol.70

TOKYO

SOUNEN

RENGOU

2016年6月20日

新米牧師の証し

調布バプテスト教会牧師 文 廷翼 (ムン ジョンイク)

私が初めて救われた高校時代以降今まで、信仰生活の波はあっても、教会を離れることはありませんでした。日本での長い留学期間を経て、東京で医療機器関連の会社を経営する事になり、最初は苦勞もありましたが、それなりに成長を続けて、成功談としてNHKテレビの特集番組に私と自分の会社が紹介されるくらい、ある程度の名誉と富をも持つことができました。無能力な自分がそこまで成功したのは、すべて神様の御守りとお導きのお陰なのに、私自身は世の中と付き合いながら段々傲慢になって神様に逆らうようになっていきました。そのせいでしょうか、それまで順調に発展し続けて来た会社が、主取引先の倒産の影響で突然再起不能の状態になって失望と挫折、すべてを諦めるところにまで転落してしまいました。その状況を克服するため自分なりにあらゆる努力をしてみましたが、到底自分の力では回復できない状態が続き、途方に暮れてしまいました。四面楚歌のようなその時に聴こえて来たのが、お祈りの中での神様の慰めの御声でした。今まで私を数多くの苦難と紆余曲折から守ってくださった存在が、イエス様の十字架であったという事実を改めて悟らせるお声だったのであります。それまで習慣的で形式的に歩いて来た信仰生活の虚しさと愚かさにやっと気がついて真心から悔い改めました。そして、それまでの人生を捨てて今からの人生は本当に神様と十字架のイエス様のために、完全に捧げることを決心しました。

私が献身を決心した直接的なきっかけはこの事件でしたが、それにしてもそれまで楽しんできた世の中の欲望と快樂に対する未練を一気になくすのは、そう簡単なことではありませんでした。借金の整理が終わって少し会社の見込みがよくなったから、また仕事に夢中になって、主日を守らなかつたり、傲慢さから自分の能力が優れているからすべてが解決できたように思うようになっていました。

その時、今までこの世の中で唯一「私を私以上に愛して」下さり、いつも私のために心配しながら祈って来た母が、急に脳出血で倒れて植物人間となってしまいました。声をかけても返事がなく、私を見ながらも反応が全くない母を見ながら、母の顔を通して私を救うために十字架の犠牲になったイエス様の御顔を見ることがで

きました。植物人間のまま、入院生活一年後に、母は天国に召されました。母の顔に写ったイエス様の御顔を通して、私は悔い改めの祈りと涙ながらの賛美をしました。そして様々な誘惑と試みから勝ち抜くことができ、神様のお許しと召命をいただきまして、余生をすべて神様と人に仕えるために捧げるつもりで、伝道及び宣教活動に献身することを決心し、直ちに上野公園と代々木公園でホームレス伝道を始めて、今も続けております。

一時期の会社の失敗と母の死は、私に想像できないほどのダメージと衝撃を与えましたが、代わりに永遠の喜びと尽きることのない祈り、そしてすべてに感謝できる驚くべき恵みを与えてくれました。(Iテサロニケ人への手紙5：16～18)

その後、私は神様に誓ったとおり、アメリカの神学校に入り Master of Divinity (牧会学修士) 課程を始めていましたが、「東京愛の教会」の権赫烈先生の「今後日本で日本の方に伝道をするなら、日本の神学校で学んだ方がいい」というアドバイスを受けて、「東京バプテスト神学校」に入学して本科と専攻科で勉強しました。神学校の校長先生だった北島靖士先生からは在学中はもちろん、卒業後も頻繁にお目にかかり、たくさんのご指導をお受けしております。時には優しいお父さんのように、時には厳しい先生として教えてくださり、私は何でも相談し、いろいろとご指導を受けております。いつも心より感謝しております。

神学校の教会実習のため半年間お世話になり、後に教会員として受け入れてくださった「百合丘キリスト教会」では、川井信雄先生をはじめ教会員の方々のあたたかい愛とご指導をいただきながら、本当にたくさんのご指導を学ぶことができました。何よりも皆さんのお祈りによって調布バプテスト教会に牧師として派遣されることになりましたので、百合丘キリスト教会の皆様へのご恩は一生忘れられないと思います。

今回、神様と皆様の前でお許しをいただいて調布バプテスト教会の牧師に就任し、按手札を授けられる運びとなりましたことを心から喜び、感謝しております。特に、色々と欠けの多いこの私を牧師として招聘して下さった調布バプテスト教会の教会員の皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。とりわけ、調布バプテスト教会でバプテスマをお受けになり、長い間信仰生活とご奉仕をして来られた岡田千尋宣教師と協力しながら牧会ができることを感謝いたします。生ける神様はすべてを備えてくださる方であることを実感して感無量です。これからは、皆様の愛とご指導、そして岡田宣教師のご協力をいただき、神様に仕え、皆様に仕えながら、福音宣教と牧会の働きを担って参りたいと思います。

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」(ローマ人への手紙8：28)

この聖句は、いつも私の心の支えとなっている御言葉です。皆様、今後ともどうぞよろしくお祈り申し上げます。

2016年度 全国壮年会連合代表者会議 報告

大泉バプテスト教会 青柳 博 (あおやぎ ひろし)

今年の代表者会議は 5/13(金)~14 日(土) 2 日間各地方連合の代表者が集う会議として連盟事務所にて行われました。その報告をし、問題点を 3 つあげます。

協議したことは、昨年度の活動報告と一般会計・奨学会計の報告、そして今年度と来年度の活動報告・計画と予算案についてです。また、今年度の神学生奨学金献金週間の取組み、来年度の神学生奨学金献金目標など壮年会が主体としている働きについても話し合いました。

全国壮年大会は、今年は北九州地方連合 (西南女学院・シオン山教会 8/19(金)~20 日(土))、来年は北関東地方連合 (天城山荘にて 8/24(木)~26 日(土))、再来年は東北地方連合 (ほぼ決定) が担当です。

今回の議案の中では以下の 2 項目が大きな提案だと思います。

- ① 理事会の承認が必要となりますが、神学生の負担軽減を目的として、2 種奨学金をこれまでの貸与から給付へ変更すると共に、
 - ①配偶者特別加算 (月額 2 万円)、②子ども特別加算 (1 子当たり月額 5 千円)、③図書援助費 (年額 3 万円) を 2 種奨学金の中に新設。年間 200 万円の予算が必要となります。
- ② WG 答申の取組みについて~プロジェクトチームの設置 (案)

Ⅲ. 内容

イ. 次に掲げる内容を協議するため 4 つのプロジェクトを設置する。

- ①献身者を生み出す教会 (中四国・関西・中部担当)、②新任牧師と協働する教会 (九州担当)、③全国大会開催の方法について (神奈川・東京・北関東・東北担当)、④奨学金制度の充実をめざして (理事及び奨学金委員会並びに有志) で構成する。

ロ. 構成メンバー 当初、構成メンバーは、「全国壮年会連合役員会及び地方連合壮年会長の中から選任する」であったが、任期が終わる会長も数名あり、今回は、代表者だけでなくとも良いことになった。

ハ. プロジェクト活動期間 2016 年 6 月から 2017 年 3 月までとする。

ホ. プロジェクト開催回数及び予算 開催回数は 2 回 予算は 35 万円

各地方連合の神学生奨学金献金について討議が行われ、「東京地方壮年連合では、神学生奨学金献金の目標五百万円を掲げ、役員一同協力して神学生奨学金献金運動しています。」と報告。

問題点①

現在、必要額に対して、年間 400～500 万円奨学金献金が不足していますが、年間 2,200 万円の献金が続くとしてこれに更に 700 万近くの金額が必要となり、5年で 3,500 万円近くが神学生奨学金献金から増額支出されることとなります。個人的には支出が増え、奨学金会計の持続性が失われていくので、1種奨学金と同じように「貸与」だと考えます。

代表者会議で奨学金委員長からこの提案について大泉教会としては如何ですかと 2 回確認を受けましたが、昨年全国壮年大会で大泉教会が提案し否決された提案内容に酷似しているように思います。代表者会議で申し上げましたが、この提案について激しく反対された代議員数名の方はどのように考えられるでしょうか。

このような提案が執行部から出るのであれば、大泉教会壮年会に対し何らかの意思表示があつて然るべきだというのが壮年会全員の気持です。

問題点②

現規約細則第 2 3 条で、選挙管理委員は、代表者会議で地方連合会壮年会長の中から選任するとなっています。現執行部が 2 期目に入った時、選挙管理委員が初めて代表者会議の出席者の中から選ばれました。

昨年陪席で代表者会議に出席した時は選挙に関する事項はありませんでしたが、今年山田会長が出席出来ないのが代理として出席した折、選挙管理委員を選ばなければならないことになり、細則で地方連合会壮年会長と規定していることが、おかしいと思いました。

私は全国壮年会連合に関わる全員に、選挙権・被選挙権があると思います。については、女性連合のように各地方連合から候補者を揚げ、候補者選考委員会と選挙管理委員会で公明正大な組織を作るのが良いと思います。

問題点③

前回のWG報告の件は、どうなっているのでしょうか。このまま新しい代表者でやると、前回担当の方々に申し訳ないと思います。

第 51 回全国壮年大会 in 北九州 (8 月 19 日(金)～20 日(土))

「今年の北九州で行われるプログラムは大会主題～連帯と祈り～を具現化した内容を表していると思われます。総会を 2 日目に持っていき、初日に主題を重視したプログラムを組んでいることです。東京地方壮年連合の皆さん、是非参加して共に豊かな恵みに預かりましょう。協力伝道がさらに勧められることで、どんな神の祝福があるのかを楽しみにして...！」

発行人：東京地方壮年連合会長 山田誠一
編集人：中村茂